

和

森の里小学校
研修部通信
令和2年11月18日

ブロック研 (5年1組澁谷学級)

10月19日(月)に、今年度2度目の授業研となる高学年ブロックの授業公開が行われました。『ならした大きさを考えよう』の学習を見させていただきました。
事後研は、下のような話がされました。

授業者から

- 子ども達の自由な発想を伸ばしていきたいと考えながら日々授業作りを行っている。明るく元気なクラスの雰囲気だが、自由すぎる場面もあるのが課題。
- 「導入」でジュースの量をならすことを考える場面で、すぐに本時の答えとなるような発表が出てしまったので失敗した。「液体の場合はどうしたらよかったか」と投げかければよかった。
- 全体的に子ども達の考えを拾いきれなかった。タブレットの操作に時間を費やしてしまった。
- まとめと習熟に時間がかけられなかった。
- 前に出て発表することが苦手な児童も、自分の席でタブレットを操作しながら発表することならできるので、それもタブレットの良さだと思う。



視点1 「考える力」の育成

○タブレットの有効な活用をしていた。導入でタブレットを使って操作したことで、「ならす」イメージが明確になっていた。

○タブレットを使ったことで、発表の苦手な子が自分の席で発表をすることができていた。

○一人学びの前に、全体で答えの検討をつけたことで、一人学びのやり方が深まった。

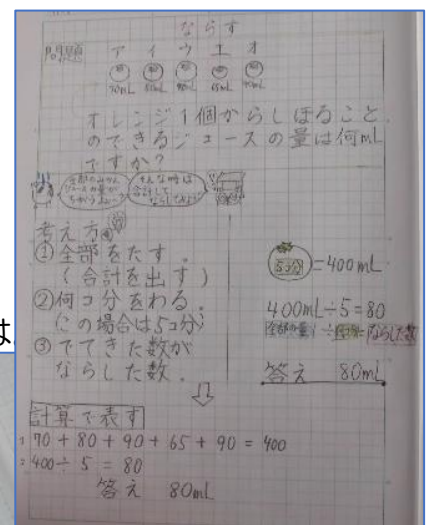
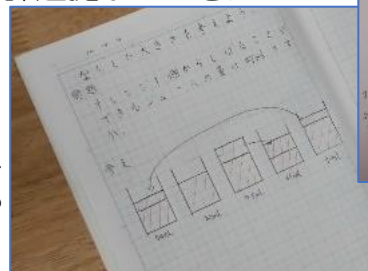
○一人学びの場面では、図にしたり、言葉を使ったり、式をたてたりとそれぞれの方法を工夫して、わかりやすい方法で行っていた。

○導入場面のブロックを動かすイメージがしっかりとできていたので、

「液体だとうまくいかない」という流れを作って課題提示ができたのでは

●一人学びの時間が2回あったので、1回にまとめても良かったか。

●子どものノートを残しておく方法がほしい。
テレビ画面で一度は見たが、残されていなかった
ので、立式に迷っている子は、手がかりにするものがなかった。



視点2「学び合い」の充実

○いろいろな計算方法が子ども達から出てきていた。

○ペア交流や教え合いが活発で、子ども達が自由に歩き回って交流を深めていた。

○みんなの考えをまとめる段階で、先生が指名した子のノートがわかりやすく説得力があった。あらかじめ写真には撮っていなかったが、そのままタブレットのカメラ画面を起動させたまま実況中継的に紹介したのも臨機応変な対応でよかった。

●「式が複雑だと面倒だから」という視点で、みんなの考えをまとめていけるとよかった。

●考えをまとめていく段階でも、紹介した子ども達の考えが分かるように提示する方法があればよかった。

●一つの式にまとめる段階で、もう少しじっくり取り組めるとよかった。

その他

○子ども達のつぶやきが活発でよかった。考えがよくわかる。つぶやきを受け入れてもらえる学級の雰囲気が高く、考えの深まりが生まれていると感じた。

●導入部分に時間がかかっていたので、もう少しコンパクトにしてもよかったのでは。



ワイレスでTV画面に映し出されます。

発表者の児童
自分の席で操作・
発言しています。



できたね！



交流学习の一コマ

教頭先生より

(授業は見られなかったが)

・5年生は子ども達と先生のやりとりや、子ども達同士のやりとりがとても活発で自己表現が上手。子ども達の考えや思いを受け入れながら学級づくりをされている澁谷先生のやり方が素晴らしい。高学年になるにつれて、自己有用感や活発さが薄れていく傾向のある森の里小学校において、5年生の雰囲気が広がっていけばと考えている。

・今回の単元は、生活に即した課題を扱っているので、生活に使えるという視点でも学習を深めることができると思う。

・タブレットの活用については、メリットとデメリットを把握した上で有効な活用法を実践していくことが大切。

